

## 平成26年度工事等事故防止重点対策項目を策定！

近畿地方整備局では、平成25年度の事故発生状況を踏まえ、平成26年度の工事等事故防止重点対策を下記のとおり7項目決めました。

1. 地下埋設管及び施設ケーブルに対する事故
2. 架空線に対する事故
3. 高所作業箇所からの墜落事故
4. 資材・仮設材及び工具の飛来落下事故
5. 重機の転倒・接触事故
6. 草刈作業における飛び石事故
7. 吊り荷と作業員との接触事故 ← H26年度追加項目



## 平成25年度直轄工事等における事故発生状況

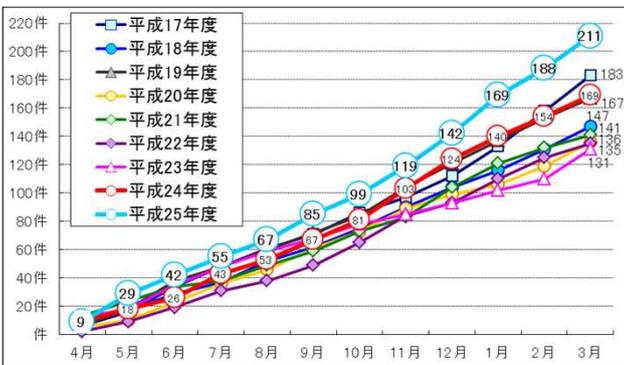


図1 年度別事故発生件数

### ■平成25年度の事故発生件数、発生率

- 全体事故件数はH24年度に比べ42件増加し、近年最多のH17年の183件を大幅に上回る211件発生
- 12月～1月の月別発生件数は突出して多く、重大事故も多発した。



図2 工事事故の発生率

### ■事故発生率

- 工事履行件数の増加に伴う事故件数の増加に加え、事故発生率も、昨年を0.8ポイント上回り8.6%と最も高い数値となった。

### ■分類別事故発生状況

- もらい事故がH24年度から49件増加し、過去最多の134件発生。
- 工事関係者事故はH24年度に比べて13件増加し、53件発生。
- 管理施設損害事故はH24年度に比べて19件増加し、過去最多の70件発生。
- 第三者(損害)事故はH24年度に比べ10件増加し、H19年を上回る88件発生。
- 上記全ての分類で事故発生件数が増加している。

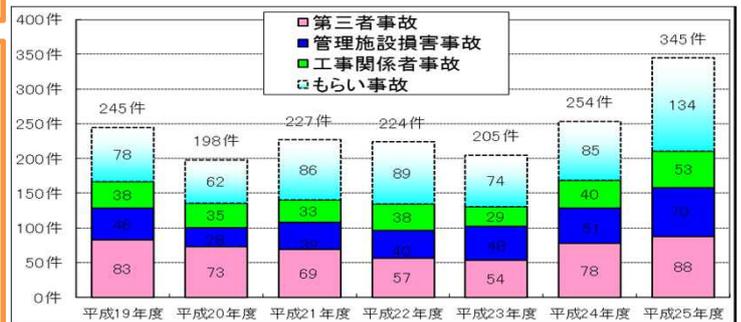
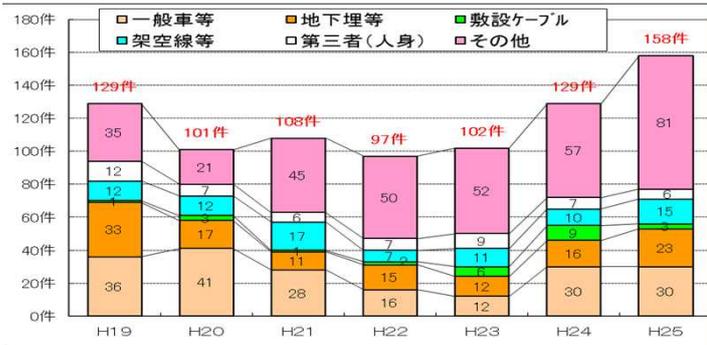


図3 事故分類別事故発生状況



### ■公衆災害事故の発生状況

- 公衆災害全体では、平成24から29件の大幅増加で158件発生
- 第三者(人身)事故は**工事車両による交通死亡事故1件**を含む6件発生
- 架空線切断事故は**昨年の10件を上回る15件発生**
- 地下埋設物の損傷事故も**昨年の16件を上回る23件発生**
- 一般車等の損傷事故(交通事故等)も昨年と変わらず30件発生
- その他損害事故81件の内訳は
 

官用車・貸付車両の損害	29件
道路・河川等管理施設損害	30件
民家等その他の損害	14件

### ■工事関係者事故の発生状況

- 工事関係者事故は、**昨年の40件を上回る53件発生**
- 発生形態では、**墜落事故が11件、転倒・滑落事故が6件、飛来・落下物事故が7件発生**している
- 工事関係者の**死亡事故は3件発生**
  - ・機械・バックホウ 1件 掘削作業中に水路に転落
  - ・墜落 1件 橋梁架設作業中に足場から転落
  - ・飛来・落下物 1件 床掘法屑から土塊が崩落し作業員に激突

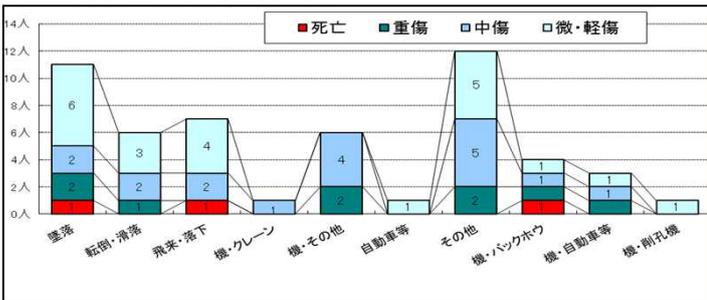


図5 公衆災害事故の内訳

### ■25年度事故防止重点対策項目等の事故発生状況

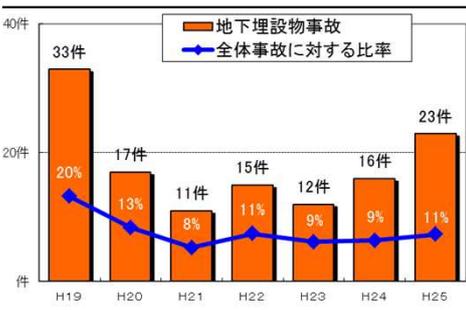


図6 地下埋設物事故発生状況

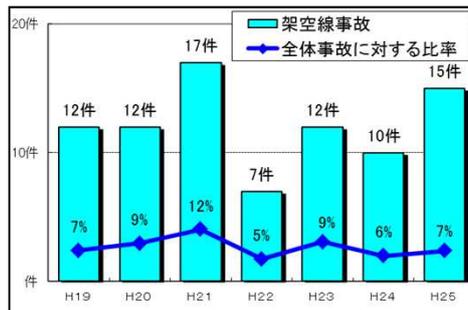


図7 架空線事故発生状況

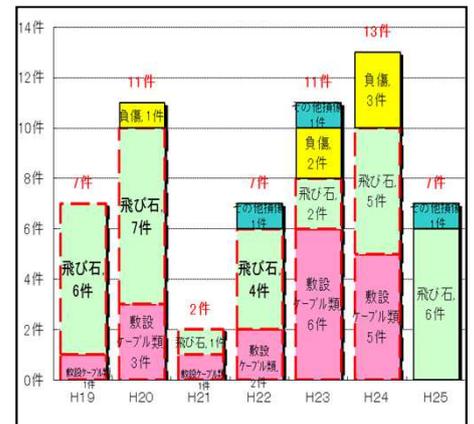


図8 草刈り作業における事故発生状況

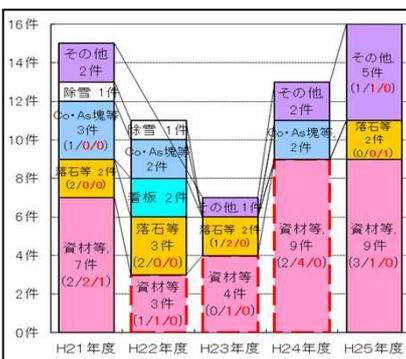


図9 飛来・落下事故発生内訳

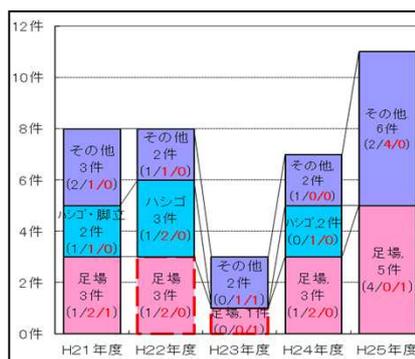


図10 墜落事故内訳

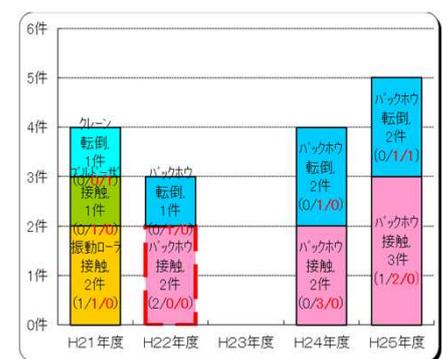


図12 建設機械の転倒・接触事故内訳

※表内の(O/O/O)は、軽傷者/中傷+重傷者/死亡者の人数 ※表内の **■** は、重点対策項目

- 草刈り作業における事故ではH24年度に重点対策項目から除外された飛び石事故が昨年の2件から5件に増加
- 飛来・落下物による事故が昨年より3件増加の16件
- 墜落事故も昨年より増加の11件、資材等の飛来・落下事故が昨年よりも増加し8件にどちらも大幅増加**
- 重機接触事故は今年度は3件、機械転倒・接触、重機の転倒による事故が今年度2件(うち死亡事故1件)が発生している**

事故の多くは、ちょっとした油断や手順の省略によって起きるものです。  
作業効率も大事ですが「**安心して働ける現場環境の整備**」に努めていただければ幸いです。